

熊本県立荒尾支援学校のホームページをご覧くださいありがとうございます。

この4月に本校の校長に着任しました、福田文子です。どうぞよろしくお願いいたします。

本校は知的障がいのある子どもたちを対象とした特別支援学校です。小学部、中学部、高等部からなり、学童期から青年期に至る発達期を通じた一貫性のある教育が、個別の教育支援計画及び個別の指導計画に基づいて行われています。また、子どもたちのより良い育ちのために、保護者、地域社会、医療・福祉・労働等の諸機関と連携し、地域社会に貢献する「地域とともにある学校づくり」を推進しております。

本年度は4月11日に新生を迎え、小学部53名、中学部41名、高等部74名、合計168名でスタートしました。また、本年度から、高等部一般学級が、県立岱志高等学校の敷地を併用する形で移転し、小学部・中学部・高等部重複学級校舎と高等部一般学級校舎の二校舎制になりました。さらに児童生徒数も増え、それぞれの校舎には、毎日子どもたちのにぎやかな声が響いています。

さて、ここ3年以上に渡る新型コロナウイルス感染症の影響で、学校における教育活動が大きく制限されてきましたが、この春から、熊本県リスクレベルが1に引き下げられ、また5月8日からは、感染症法上の位置付けが2類から5類に移行することが発表されるなど、規制緩和の動きがようやく見え始めてきました。しかしながら、まずは学校の「安全・安心」が最優先。これからPTA総会や運動会の時期となりますが、その都度の感染状況等を注意深く見極め、「どのように工夫したら安心安全に実施できるか」を視点に、柔軟な発想と知恵を結集し、関係機関や保護者のみなさまと相談させていただきながら、教育活動を進めてまいります。

また、本校は従前から地域の多くの方々との関わりを深め、連携した取組を進めてきました。この3年間は感染の影響で規模を縮小して実施していたハートフルシンポジウムや交流活動などについても、前述の教育活動と同様、徐々に再開させていこうと考えています。さらに、ボランティア共生大学にご登録いただいている皆様にも来校いただき、子どもたちとともに活動にご参加いただければと思います。

本校は、本年度も子どもたちの成長、自立や社会参加に向けて、精一杯取組を進めてまいります。保護者の皆様、地域の皆様、関係機関の皆さまのご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

令和5年4月

熊本県立荒尾支援学校長 福田 文子